



analytica Vietnam 2009



ファイナルレポート

第1回 国際分析機器・バイオテクノロジー・診断機器・
ラボテクノロジー・サービス専門見本市/国際会議

2009年3月18日～20日

Hanoi International Center for Exhibition (ICE Hanoi)

2009年3月20日

Summary

- 初回開催は成功裏に
⇒ベトナム市場における新しいプラットフォーム
- 来場者数は3,132人
⇒業界の代表者、大学・研究機関のユーザ
- 出展社の高い満足度
⇒新規顧客やパートナーの獲得
⇒ベトナムの関係官庁とのコンタクト
- analytica Vietnam Conference も大盛況のうちに終了
⇒30の会議プログラムに287人が参加



Facts & Data

会 期	2009年3月18日(木)～3月20日(金) 午前9時～午後5時
会 場	ベトナム・ハノイ / Hanoi International Center for Exhibition (ICE Hanoi)
主 催	ミュンヘン見本市会社 (Messe München GmbH) 国際見本市展示会サービス会社 (Internationaler Messe- und Ausstellungsdienst GmbH) National Center for Technological and Scientific Information
規 模	1ホール
出 展 企 業	11ヶ国 から 107 社 (共同出店含む)
来 場 者 総 数	3,132 人
専 門 分 野	光学、ラボ技術、バイオテクノロジー、研究&リサーチ
主 な 出 展 品	<u>分析技術・機器</u> : 分析機器、顕微鏡検査、光学画像処理、クロマトグラフィー、分光測定機器、製薬品質管理 <u>検査・測定・品質管理</u> : 産業品質管理、材質試験、材質評価、薬品産業品質管理 <u>ラボテクノロジー</u> : ラボ用機器・技術・設備、ラボ用データシステム、試薬・化学製品・消耗品 <u>ライフサイエンス・診断</u> : バイオアナリシス、バイオケミカル、バイオインフォマティクス、ライフサイエンス関連ラボ・バイオテクノロジー
出展日系企業 (現地法人・代理店出展含む)	(株)アタゴ、(株)アルバック、アルバック機工(株)、(株)イニシウム、(株)イー・アンド・ディ、オリンパス(株)、三洋電機(株)、(株)島津製作所、(株)ニコン、日立工機(株)、平沼産業(株)、(株)堀場製作所
専 用 U R L	www.analyticavietnam.com (英語)

分析技術・機器、ラボテクノロジー、ライフサイエンスの全分野をカバーした「analytica Vietnam 2009」が、今回初めてベトナム・ハノイで開催され、大盛況のうちに幕を閉じた。3日間の総来場者数は3,132人、出展社数は共同出展なども含めると107社で、その内の74社はベトナム国外の11カ国からの出展で、初回から国際色豊かな見本市となった。今回の結果を受けて、ベトナム市場の重要性が業界にとってますます高まっていることが強調されたといえる。



併催のイベントや会議プログラム「analytica Vietnam Conference」も好評で、グローバルな analytica ネットワークが、見本市を越えたプラットフォームであることが明白となった。

ミュンヘン見本市会社の常務取締役クラウス・デイトリッヒは今回の成功を受けて、「当社が analytica グローバルネットワークの次のステップとしてベトナム・ハノイ選んだことは、業界のニーズに合っていたと言える。業界を代表するグローバル企業に出展頂いたことと現地企業から非常に好評だったことから、東南アジア地域において適切なプラットフォームのニーズがあったと確信している。大きな可能性を秘めた新しい市場において、analytica Vietnam が経済発展に関われることを大変嬉しく思う」と話している。



出展社の満足度は非常に高く、Eppendorf Biochip Systems GmbH 社の Barbara Schaffrath 氏は、analytica Vietnam がベトナム市場の可能性と出展社にとっての新しいビジネスを開拓したとした上で、「当社は今回ベトナムの関係官庁と非常に良いコンタクトを持つことができた。また当社の新しい検査技術を市場に紹介することができた」と話している。

来場者の多くは業界の代表者で、続いて大学や研究所のユーザが多く、結果として analytica China 及び analytica Anacon India と同じように、開催当初から、この新興経済を開拓するための理想的な商談・ネットワーキングのプラットフォームとなることができた。

堀場製作所(シンガポール)の Gene Phay 氏は、「この見本市は、当社の製品をベトナム市場に紹介するための最適な場だった」と、また、PG Instruments Ltd.社の Adrian Hatton 氏は、「3日間で多くの前向きな反応を頂いた。来場者も、エンド・ユーザと代理店が程よい割合で来ていて、多くのビジネスチャンスが生まれた」と両者とも高い評価をしている。

展示とあわせて、会議プログラム「analytica Vietnam Conference」が開催され、およそ30人が講演し参加者と議論を交わした。講演では、著名な専門家たちが、最新のモニタリング技術や研究結果、またバイオテクノロジーやメタボミクス、品質管理、環境分析、クロマトグラフィーの研究開発動向などについて話し、287人が参加した。この会議プログラムの主催は Vietnam Analytical Sciences Society (VASS)で、ハノイ大学の Research Center for Environmental Technology and Sustainable Development (CETASD)と Vietnam Academy for Science and Technology (VAST) の Institute for Biotechnology (IBT)が後援してお



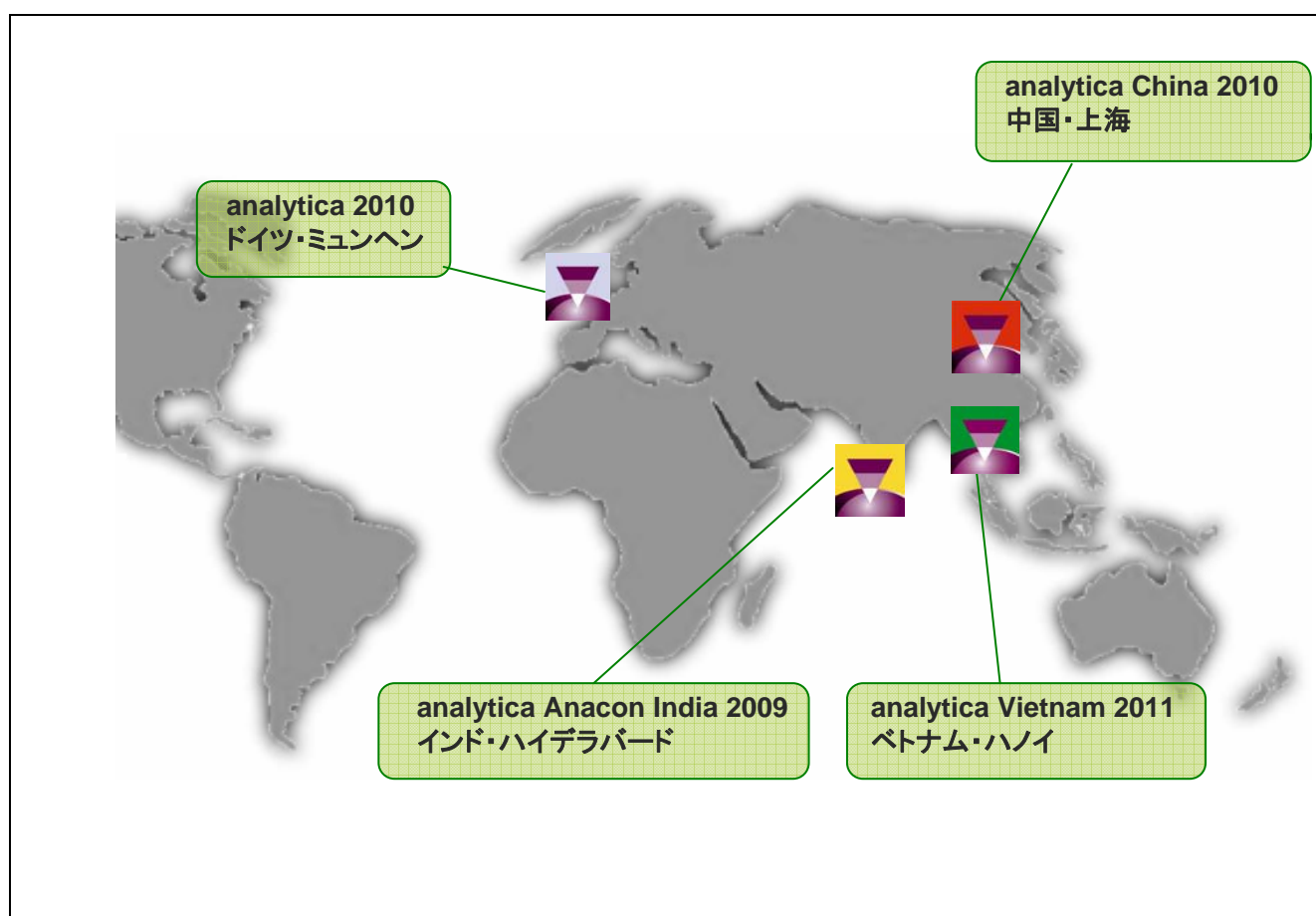
り、見本市と併設することで科学と産業の溝を埋める大きな役割を果たした。
CETASD の Pham Hung Viet 氏は、「この会議は、ベトナムの科学者や研究者にとって、分析化学・技術、そしてバイオテクノロジーにおける幅広い情報を産業分野と分かち合う機会を提供したという意味でも、大成功だった」と話している。

会議プログラムのほかに、ISO 17025 基準を保つ品質・ラボ管理についてのワークショップも開催され、見本市最終日には、18 の公・民研究機関が正式認可を受けた。ワークショップにはラボ管理者、化学者、品質管理者、またラボ技術関連企業の責任者が参加し、ISO 基準認定のための戦略などが紹介された。

次回の analytica Vietnam、analytica Vietnam Conference は、2011 年春に開催される。

詳細情報ならびに写真は、www.analyticavietnam.com/en/Home/visitors/Impressionsまで。

<analytica Worldwide>



資料請求、出展申込み、入場券購入、各種お問い合わせ先：

メッセ・ミュンヘン・インターナショナル 日本代表部

〒102-0075 東京都千代田区三番町 2-4 三番町 KSビル 5F 在日ドイツ商工会議所内

Tel.: 03-5276-3508 Fax: 03-5276-3509 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.com (英語 / ドイツ語)